

安全な医療に ご協力いただくために



富山労災病院 医療安全管理室

はじめに

当院では、安全で質の高い医療を提供するため日々努力しています。患者さん、ご家族の方もご理解いただき、医療安全や感染予防など私たちの活動に協力をお願いいたします。

患者さん、ご家族の方へのお願い

- ・良質な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報は、できるだけ正確にお伝えください。
- ・医療に関する説明を受けてもよく理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- ・入院では、治療上必要なルールがありますのでお守りください。
- ・治療を受けて異常を感じたら、すぐにお知らせください。
- ・すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の患者さんの迷惑にならないようにご配慮ください。



目 次

平成 23 年 9 月作成
平成 27 年 7 月改訂

1. 氏名確認にご協力ください	4
2. お薬の申告と持参薬のお願い	5
3. アレルギー予防にご協力ください	6
4. 転倒・転落予防にご協力ください	7
5. ^{じょくそう} 褥瘡（床ずれ）予防にご協力ください	10
6. 深部静脈血栓予防にご協力ください	11
7. 感染予防にご協力ください	12
8. 面会について	14
※ 迷惑行為について	15



1. 氏名確認にご協力ください。

患者さんの安全確認のため、入院される全ての患者さんに氏名を記入した「リストバンド」を着用していただいております。

- ◇ 点滴や採血、レントゲンなどの検査の前には必ず氏名を確認します。
- ◇ 患者さんご自身にもフルネームを名乗っていただきます。
- ◇ 医療者が確認を忘れてしまった場合は、患者さんから注意のお言葉をおかけください。

リストバンド



お名前確認
させていただきます。



☺安全な医療を提供するために「本人確認」をしましょう。
☺名前の確認はすべての基本です。
☺患者確認をすべき場面は、医療現場のあらゆる場面で発生します。
診察前、採血前、注射実施前、処置実施前、検査開始前、
撮影開始前、処方や書類を渡す前……など

富山 太郎です。

お名前確認しますね。
お名前は？

リストバンドを
確認します

リストバンド



2. お薬の申告と持参薬のお願い

入院中に使用するお薬との飲み合わせなどを確認いたします。

- ・ 病院から処方されているお薬や他の病院から処方されているお薬、またご自身で購入して飲んでいるお薬、健康食品、サプリメントなどがありましたらお持ちください。
- ・ 飲んでいるお薬の名前などが書いてある、「お薬手帳」や「説明書」がありましたらお持ちください。
- ・ お薬の飲み方について、普段から注意されている事がありましたらお伝えください。
- ・ お薬によっては、一時中止しないと手術が中止や延期になることがあります。



3. アレルギー予防にご協力ください

患者さんによっては、お薬や食べ物でアレルギーを起こす場合があります。

以下のような経験をした方は、医師・看護師・薬剤師・栄養士にお伝え下さい。

お伝えいただいた情報をもとに、安全な食事や薬剤の提供に細心の注意をはらいます。患者さんご自身でも配膳された食事やお薬についてご確認ください。

- ・食べ物でアレルギーを起こした経験のある方
- ・お薬による副作用で（かゆみや発疹など）が出た経験のある方
- ・検査時の造影剤などで、かゆみや、顔のほてりやめまい、はき気などの症状の経験がある方
- ・アレルギー体質のご家族（両親・兄弟など）がいる方は、医師・看護師にご相談ください。



4. 転倒・転落予防にご協力ください

入院中は、不慣れな環境で病状の変化により、筋力や注意力が低下し、思いがけず転んでしまうことがあります。

高齢の方は特に注意が必要といわれています。歩行中の転倒やベッドからの転落には十分ご注意ください。

1) 入院の際に準備するもの

- ・履きなれた靴（スリッパは禁止です！）



履きやすく、脱ぎやすいもの、滑りにくいもの

- ・杖 シルバーカーなど

2) なぜ転んでしまうのか？

① 環境の変化

② 症状による身体の変化

- ・手術や治療による影響
- ・貧血や発熱など

③ 痛み止めや睡眠薬の影響



3) 転倒・転落を防ぐためのお願い

〈ベッドサイドで気を付けること〉

- ・足に力が入るか確認してから動き出す。(床に足が着く高さが安全)
- ・遠慮なく看護師を呼ぶ

〈トイレで気を付けること〉

- ・手すりにつかまる
- ・トイレが終わったらナースコールで看護師を呼ぶ

4) 転倒・転落を起こすと・・・

- ・転倒・転落を起こすと切り傷・打撲にとどまらず出血や骨折などをおこし、本来の病気以外に新たな治療が必要になる場合があります。

5. ^{じょくそう}褥瘡（床ずれ）予防にご協力ください

入院中、ベッド上の生活で思うように体が動かせないときには注意が必要です。

床ずれは、栄養低下や、骨の出っ張り部分の組織の血行が悪くなった場合に起こります。（特にかかと・お尻・背中など）皮膚の痛み・赤み・水ぶくれなどの軽い症状から、進行すると皮膚潰瘍を起こすことがあります。

- ◇床ずれ予防のため、定期的に体の向きを変更する場合があります。
- ◇体がマットレスにあたり、痛み・皮膚が赤くなる場合には、すぐに看護師にご相談ください。
- ◇患者さんの状態によっては、担当の医師や看護師の他に院内の褥瘡チームにより治療を行います。

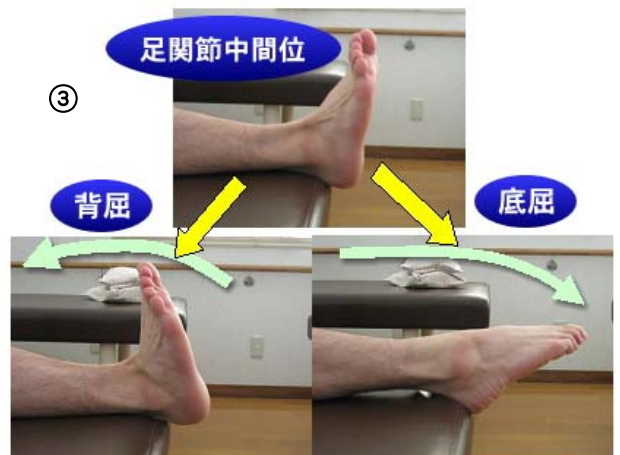
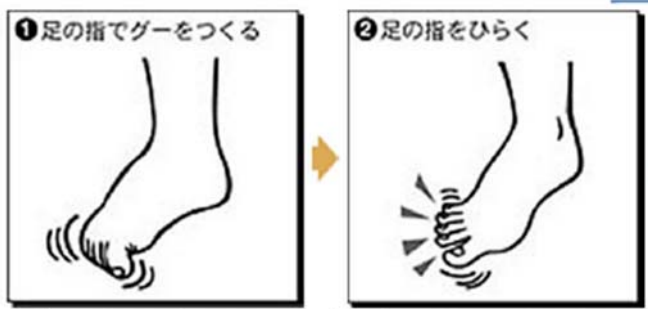
6. 深部静脈血栓症予防にご協力ください

手術や治療のためベッドで寝たきりの状態が続くと。足から戻ってくる血液の流れが悪くなり、血のかたまり（血栓）ができやすくなります。血栓が肺へ流れていくと肺の血管を詰まらせ（肺塞栓）胸痛や呼吸困難など重い症状を起こすことがあります。

- ◇過去に深部静脈血栓症と診断されたことのある患者さんは必ずお知らせください。
- ◇手術を受ける患者さんには血栓予防ストッキングを使用させていただきます。
- ◇手術後に、圧力ポンプを使用する場合があります。

～ベッド上でできる下肢の血栓形成予防運動～

- ◇1日数回、各運動を1セット10回程度行いましょう



7. 感染対策にご協力ください

入院中は治療の影響により、普段よりも身体の抵抗力が弱まることがあります。院内感染を予防するために以下の点についてご協力お願いいたします。

1) 手洗い

食事の前、トイレの後などは手を洗って下さい。

目に見える汚れのないときには、アルコール性手指消毒剤も有効です。病室前等に設置しておりますのでご利用ください。



手指消毒手順 (アルコール消毒液) © SARAYA CO., LTD.



2) 咳をする時のお願い (咳エチケット)

咳エチケットとは・・・

風邪やインフルエンザをはじめとする呼吸器の感染症の広がりを予防するための対策です。

◇咳やくしゃみをするときは、唾液や痰が飛び散らないようハンカチやティッシュで、口と鼻を覆いましょう。

◇咳やくしゃみをした (痰や鼻汁に触れた) あとは手を洗いましょう。

◇医師や看護師からマスクの着用をお願いすることもありますのでご協力をお願いいたします。

(ア) 面会について

入院中の患者さんが風邪やインフルエンザに感染してしまうと、治療が遅れ

たり入院が長引くなど、入院生活に支障をきたす場合があります。



◇入院患者さんへの感染を防ぐために面会の方も病室に入る前には手を洗ってください。

病室の前にはアルコール性手指消毒剤が設置してあります。

◇風邪気味の方や下痢、吐き気などの症状がある方の面会はご遠慮ください。やむを得ず面会を希望されるかたは、医師・看護師までご相談ください。

◇大勢の面会や小さなお子様の面会はできるだけご遠慮ください。

(イ) 感染症発生時の対応について

感染の拡大を防ぐため、病室の移動などをお願いすることがあります。



迷惑行為により診療をお断りすることがあります。

当院では、次のような迷惑行為があった場合、診療をお断りする場合があります。



1. 他の患者さんや職員にセクシャルハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはその恐れが強い場合
2. 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、あるいは職員の業務を妨げた場合
3. 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合
4. 建物設備等を故意に破損した場合
5. 入院に必要なでない危険な物品を院内に持ち込んだ場合

患者さんの安全を守り、診療を円滑に行うとともに、最善の医療を提供するためにも、なにとぞご理解のほどお願いいたします。

